

平成30年度第1回定例会

日時：平成30年7月6日（金）午後2時から午後4時20分まで

場所：本館 講座室

出席者：（図書館協議会委員）会長、副会長、委員4名

欠席者 委員1名

（事務局） 図書館長、図書館本館整備担当課長、企画運営担当主査2名、  
サービス係長、子ども読書支援係長、総務係長、担当職員2名

---

会長 本日は委員1名から欠席の連絡が入っている。委員6名が出席のため、多摩市図書館協議会規則第4条により平成30年度多摩市図書館協議会第1回定例会を開催する。事務局より配布資料の確認をお願いする。

事務局、図書館長より配布資料の確認。

会長 議題の前に報告案件をお願いしたい。

図書館長 報告事項1、第三次多摩市子どもの読書推進計画について、資料1-1-1から資料1-1-7までを説明。

会長 資料1-1-4から第二次計画の推進体制から見ると第三次体制に子ども読書支援係をいれたのはどのような経緯があるのか。

図書館長 第二次計画の体制は、子ども読書支援係長が推進連絡会の会長を務めており、各連絡会からの報告事項の取りまとめが主になり、連絡会として活発な意見交換等ができなかった。第三次では、推進に対しての活発な話し合いがもてるようこのような体制とした。

委員 推進体制について、各施策と推進体制はどう関係していくのか、推進体制とそれぞれの連絡会の関係性について教えてほしい。

図書館長 今回推進計画のなかで、3指標と5重点施策を具体的にどのように進めていくかは決っていない。推進連絡会を立ち上げてからアクションプラン的なものを作りたいと考えている。学校関係、庁内関係、それ以外の各関係機関と、各施策についてどの連絡会が中心となって関っていくかこれから決めていく。

委員 資料1-1-3を見る限りでは、それぞれの連絡会を活発化させることが見えてくるので、横のつながりを巧く活用しながら第3次計画を推進してほしい。

会長 この計画は、平成36年を目標としている。今年度を含め6年間推進していくことになる。

図書館長 報告事項2、図書館システムの入替えについて、資料1-2を説明

- 委員 読書記録が設定できることについては、個人的にはありがたいサービスだが、情報が漏洩するのではないかと考えると怖い。セキュリティ対策は万全だと思うが、個人情報の取り扱い方として図書館はどのように考えているのか。
- 図書館長 読書記録については、利用者本人のマイページの中に作成するものなので、外部からみることはできない。やまぼと通信でもホームページのリニューアルについてお知らせしているので見ていただきたい。
- 会長 今までどおり、返却があった時点で貸出履歴が消去されていると思うが、個人のマイページ内で記録されているわけで、たとえば、警察が個人の貸出履歴を調べに来た際はどのような対応になるのか。
- 本館整備担当課長 サーバ内に記録は残っているが、業務端末からその情報を見ることはできないので、個人の貸出履歴は回答できない。これまでの事例では、現在貸出中のものについての対応は警察のみの照会に対しては、回答していない。裁判所からの令状があれば対応することになる。
- 会長 資料一覧では、本の表紙は提供されていないようだが、すべて同じアイコンから検索するのか。
- 企画運営担当主査 ログイン画面から展開。資料検索を開くと確認できる。
- 会長 本館基本計画検討委員会でカメレオンコードの話がでてきているが、これについての調整は考えているのか
- 本館整備担当課長 カメレオンコードについては、不正持出防止機能がなく、導入実績も非常に少ないため、具体的に今のシステムに取り入れることは検討していない。
- 会長 入れるとすれば、システム改修、更新等が必要になるのか
- 本館整備担当課長 今回のシステムでは、実績がないため、入れることになれば多少なりと改修が必要となる。
- 図書館長 報告事項3、平成29年度多摩市立図書館事業計画の実績及び平成30年度多摩市立図書館事業計画について、資料1-3-1から資料1-3-2までを説明。
- 会長 次回、実施報告等の評価のあり方を考えたいとのこと。
- 委員 次回に評価を考えたいということだが、それは事前に図書館が考えてくるのか、会長が考えてくるのか、あるいはその場で詰めるのか、どのような手法となるのか。
- 会長 図書館が予め評価をし、図書館の自己評価に対し、協議会として評価の良し悪しを決めるか、もしくは、重点施策に対し研究的にやるような感じになるのではないかと。やり方等を含めて次回行う。

- 図書館長　今回、初めて実施報告書を作った。参考としたのが多摩市の教育についての計画である多摩市教育推進プランの実施報告である。具体的な取組を目標とし、これに対し年度末に結果を示し、各所管課に評価をしてもらう。さらに、いくつかの取組を抜粋して教育委員がヒアリング等をしてさらに細かく評価し、事業報告としている。
- 会長　今回は、評価の枠組みについて協議会で議論するという理解でよいか。どのような形で評価していくかでよいか。
- 委員　10あるいは11月に枠組みができて、評価結果は年度末に扱うという考えでよいか。
- 図書館長　前回の協議会でお願いした評価スケジュールでは、今回示した、平成30年度事業計画について、平成31年度に評価をしていただくとしていた。
- 委員　実施報告を見ての意見だが、図書館はとて多く事業を実施しているが、それらが市民に伝わっているのかいつも危惧している。この実施報告書をそのまま出すのではなく、いくつかの事業をトピックとして取り上げたリーフレットやパンフレットなどを作成し、わかりやすく読みやすくして広報すると、市民のみなさんから理解を得られるし、今後、新本館の設立にむけての理解も得られるのではないかと。新しいホームページを活用して、情報発信をしてもよいのではないかと。
- 会長　大分県立図書館では、活動内容をポスターにして掲示していた。内容もわかりやすく、図書館は本の貸出だけをしているのではなく、色々な事業も展開しているとわかるので有効なのではないかと。
- 委員　本館と地域館別に見てしまうと、実施事業が少なく感じた。市民からみるとみえない取組が多いので残念に感じた。
- 副会長　地域館が近くにありながら、活動が見えてこないのが残念。保育現場で図書活動をしていく中で、もう少し図書館との交流があったほうがよいと感じた。今回の広報に1日図書館員の記事を目にした。とても面白そうな企画、小学生がいっぱい経験できる企画なのに、定員数が少なくもう少し広げられたらと感じた。
- 図書館長　実施報告の今後の予定だが、やはりホームページに載せていきたいが、色々のご意見をいただき、図書館がやってきたことを、広く市民の皆さんに理解いただくには、創意工夫が必要と考える。
- 会長　評価を正式に行うこととなったら、評価自体を載せていくのはよいが、みやすく、市民の手にとってもらえるような形にする。さらに、図書館の活動が、市民に伝わるような仕組み、デザイン等を充実して考えていってもらえば、より一層市民に活動が知られるのではないかと。計画については、特に事業に数値目標が入っていないが、評価を考えると、数値目標をいれた計画が

よいと思う。

図書館長 平成30年度の計画については、本来、評価を踏まえて目標値を設定すべきだったが、今回は、このような形が完成形となっている。

委員 絵本の配架がかわり、とても使いやすくなったと意見をいただいた。学校図書館との連携と言っているが、学校と図書館の絵本の配架は一緒なのか。子どもたちにとっては、同じルールで配架されていたほうが、敷居が下がって、利用しやすくなるのではないか。

企画運営 担当主査 配架基準として書名五十音だが、特に市としてルールを定めていない。今回は、子ども自身が探しやすい事を一番に考えて配架をした。

委員 報告事項4、学びあい育ちあい推進会議の報告について資料1-4説明  
学びあい育ちあい審議会の経緯、活動概要を説明。

委員 平成30年3月学びあい育ちあい審議会より提言として、多摩市の地域力の向上に資する公民館活動の方向性についてまとめられた。概要としては、提言を行う背景として、震災等災害にあったときの地域力へ高まる期待、一方で地域のつながり、支えあいの意識が希薄になってきていて、高齢者等の孤立が進行していることをあげている。そこで公民館としての役割、方向性としてアウトリーチ活動の更なる展開、一緒に学習しながら地域課題をみつけ解決していく、世代間交流を通じて知識、経験の継承するプログラム作りをしていく。この提言をうけて、市民の学習活動が更に活発になることを期待すると書かれている。

平成30年度は既に2回行われている。

会長 中間のまとめ報告では、図書館については書かれていなかった。最終報告でも提言内のネットワークの中に図書館が入っていないが何か理由があるのか。

委員 提言の冒頭に記載してあるとおり、図書館については平成29年に基本構想が策定されたことから、本提言にあたっては公民館を対象とした。

会長 ほかになければ議題に進む。議題1「多摩市立図書館本館再整備基本計画の素案について」事務局から説明をお願いします。

本館整備 担当課長 議題1、多摩市立図書館本館再整備基本計画の素案について、資料1-5-1から資料1-5-3までを説明。

委員 本が固定化するイメージがわからない。

本館整備 担当課長 現在、蔵書が館ごとに固定されていないため、体系的な蔵書構成にならず分散している状況がある。一番本が揃っているのは永山図書館だが、ある分野の本を入門書から概説書等取り揃えようとする1館では探しきれない状況がある。以前、視察に行った浦安図書館等は中央図書館には深みのある資

料が集められていて、地域館には新鮮な身近な資料が置かれている。課題があった時に、そこに行けば資料が揃うような中央館機能をもちたい。また、統計的に地域館に分散している古い資料等は、本館に集約し、地域館それぞれ特色をもって身近な資料を揃えたいと考えている。

委員 予約の方法は、固定化しても影響ないか。

本館整備 これまで通り、他館の本の予約・取り寄せは可能で、影響ない。

担当課長

会長 基本計画は基本構想に沿った形で作られている。現図書館の伝統を引き継ぎながらも、1つ大きな物を造ることで情報を集積させて 知の地域創造を実現させる。新しい取組としては、ICチップ、ラーニングコモンズ、広いフリースペースなどを基本計画の中で具体化している。協議会についても、定員を増やし機能強化を図ることが提言されている。

副会長 三方向から入館できるようだが、セキュリティ面は大丈夫なのか。いろいろな人が出入りすると安全の確保ができない。ゲートを置き、人を張り付けると人件費が嵩むと思う。

本館整備 出入り口として、1層目は車道に面したところに障がい者用駐車場があり、担当課長 2層目はれんが坂から、3層目は中央公園園路からとなるが、イメージとしてはゲートの近くにカウンターを配置し、カウンターから目が届けばと考えているが、共用部を考慮するとゲートの設置場所も今後検討しなければならない。人件費がかからず、死角なく安全を保てるよう今後も検討していく。

会長 基本計画が固まると、設計者の選定のためのプロポーザルがあり、そこで設計者から提案を受けて、設計作業の中で建物が具体化される。まだ、詳細な建物は決まっていない。

委員 配置概念図/相関図の見方を教えてほしい。

本館整備 部門と部門の隣接する相関関係を現したイメージ図となる。実際にはこれ担当課長 らが何層かに展開される。

会長 基本計画検討委員会は8月で終了する。その後さらに施策を具体化するにあたっては宿題が山積みで、本の動かし方、地域館のあり方等さらに議論が必要。これからは、本協議会でも深めた議論をする必要がある。

委員 地域館の役割というのが、新本館が話題になってから議論の中心であった。中央館としての新本館にどのような機能をもたせるのか、地域館を含めて多摩市の図書館をどうするのかを協議会で議論すべきと考える。蔵書の動かし方にしても、多摩市ならではのやり方があるのではないかと

会長 地域館、駅前拠点館の動かない本を新本館に持ってきて、地域館には利用されやすい資料を置くというような議論になっている。今後は、図書館側でも考えていく必要があるし、本協議会としても確認していく必要があるので

はないかと考える。

委員 協議会委員として、基本計画に意見を出せるのはいつまでか。また協議会として携わることができるのか。本館と地域館との関係については、今後も協議会として意見を深めていく必要があると考える。

本館整備  
担当課長 7月20日までに意見をいただき、検討させていただきたい。基本計画策定後も、具体化に向けては課題等が山積みとなる。より詳細に現場に適用するには、是非とも委員の方々のお知恵をお借りしたいと考える。

会長 ほかに何もなければ本日の予定はすべて終了。これで平成30年度多摩市図書館協議会第1回定例会を終了する。